

京都大学構内遺跡調査研究年報

1995年度

京都大学埋蔵文化財研究センター

巻首図版



京都大学総合人間学部構内A O22区 弥生時代前期の水田跡

序

本報告書は、1995年度に埋蔵文化財研究センターがおこなった、大学敷地内の発掘調査の成果をまとめたものである。京都大学構内の遺跡は、北部構内の縄文時代の遺跡群、大阪府高槻市の農学部附属農場内の弥生時代の安満遺跡などによって古くから著名であるとともに、京都盆地の一角を占めるにすぎない吉田キャンパスにも、先史時代から近世に至る長い歴史を刻んだ遺跡が累積していることが明らかになっている。本センターが発足してすでに20年を越え、学内に分布する遺跡の概要についてはほぼ把握できるようになってきているが、新たな発掘による予期しない発見も少なくない。第2章で報告する弥生時代の水田跡などは、そのような例の一つである。

埋蔵文化財研究センターがおこなう調査は、学内の施設の建設予定地内の遺跡に限定されたものであるが、できるだけ精緻な分析にもとづいた報告を目指して努力を重ねている。この報告書も、吉田キャンパスを含めた北白川一帯に残る、先史時代から近世にわたる遺跡の従来の調査成果に、新たな資料を加えながら歴史的環境の復元を試みている。第Ⅰ部は、個々の発掘調査の結果とその考察をまとめたものであり、また第Ⅱ部は、過去の調査の資料を再検討するとともに、新たな資料による知見を加えたものである。ご高覧いただき御批判をお願いしたい。

おわりに、これらの調査を進めるにあたっては、学内外の多くの関係者および関係機関から御指導、御助言をいただき、とりわけ、人間・環境学研究科、文学部、施設部の関係者各位には、多くのご協力を賜った。ここに厚くお礼申し上げる次第である。

1999年3月

京都大学埋蔵文化財研究センター長

山 中 一 郎

例 言

- 1 本年報は、京都大学構内で1995年4月1日から1996年3月31日までに発掘、整理作業を終了した埋蔵文化財調査と保存の報告、および京都大学埋蔵文化財研究センターにおける研究成果をまとめたものである。
- 2 国土座標にしたがって一辺50mの方形の地区割りをして、遺跡の位置を表示した。
- 3 層位と遺構の位置については、国土座標第VI座標系 ($x = -108,000$ $y = -20,000$) が ($X = 2,000$ $Y = 2,000$) となる京都大学構内座標によって表示した。
- 4 遺構の略号は、奈良国立文化財研究所の方式にしたがって、井戸：SE、土坑：SKのように表示し、各調査ごとに通し番号を1から付した。
- 5 遺物には、遺跡の調査名を示すローマ数字と、調査ごとの通し番号を1から付した。この遺物番号は、本文、実測図、写真を通して表示を統一した。
I：京都大学総合人間学部構内 AO22 区の発掘調査
II：京都大学本部構内 AX25・AX26 区の発掘調査
(例 I 1：京都大学総合人間学部構内 AO22 区出土遺物 1 番)
- 6 原則として、遺物の実測図は縮尺1/4、遺物の写真は約1/2に統一した。他の縮尺のもの、それぞれに縮尺を明記した。
- 7 第I部の参考文献は、本文中に、〔著者名 発表年〕の形式で表わし、第I部の末に一括した。第II部については、章末の注に一括して記載した。
- 8 古代・中世土師器の型式分類は、とくにことわりがない場合、『京都大学埋蔵文化財調査報告II』(1981年)に従った。
- 9 本文の執筆者名は各章の初めに列記した。また、遺物の撮影はそれぞれ報告者が担当した。
- 10 編集は、富井眞が担当し、清水芳裕、千葉豊、伊藤淳史、古賀秀策、磯谷敦子、中田敬子、柴垣理恵子が協力した。

京都大学構内遺跡調査研究年報 1995年度

目 次

第 I 部 1995年度京都大学構内遺跡発掘調査報告

第 1 章 1995年度京都大学構内遺跡調査の概要	1
1 調査の経過	1
2 調査の成果	1
第 2 章 京都大学総合人間学部校内 AO22 区の発掘調査	3
1 調査の概要	3
2 層 位	5
3 遺 構	8
4 遺 物	18
5 小 結	38
第 3 章 京都大学本部構内 AX25・AX26 区の発掘調査	41
1 調査の概要	41
2 層 位	41
3 先史時代の遺跡	44
4 古墳時代～中世の遺跡	47
5 近世・近代の遺跡	77
6 小 結	79
参 考 文 献	83
京都大学構内遺跡調査要項	86
報 告 書 抄 録	94

第Ⅱ部 京都大学埋蔵文化財研究センター紀要XⅢ

北白川追分町弥生時代遺跡の展開

——京都大学北部構内 BA30区（追分地蔵地点）の出土資料——

1 はじめに	95
2 1972年北部構内 BA30区（追分地蔵地点）の発掘調査	96
3 弥生時代前期の北白川追分町遺跡	113
4 おわりに	116
図 版	巻末

図 版 目 次

- 卷首図版 京都大学総合人間学部構内 AO22 区 弥生時代前期の水田跡
- 図版 1 京都大学吉田キャンパスの地区割と調査地点
- 図版 2 京都大学総合人間学部構内 AO22 区
調査区全景（北東から）
- | | |
|----------|-----------|
| 1 近世遺構 | 2 古代・中世遺構 |
| 3 弥生前期遺構 | |
- 図版 3 京都大学総合人間学部構内 AO22 区
- | | |
|-------------------|---------------------|
| 1 水田域全景(1) (北東から) | 2 水田域全景(2) (北から) |
| 3 水田域細部 (北から) | 4 中央微高地上の農耕具痕 (東から) |
| 5 完掘後全景 (北東から) | |
- 図版 4 京都大学総合人間学部構内 AO22 区
- | | |
|------------------------|-------------------|
| 1 鋳造遺構 SX 1～SX 4 (西から) | 2 SX 1 上層遺構 (西から) |
| 3 SX 1 完掘 (南から) | 4 SX 2 完掘 (南から) |
| 5 SX 3 完掘 (南から) | 6 SX 4 完掘 (南から) |
- 図版 5 京都大学総合人間学部構内 AO22 区
- | | |
|--------------------------|-----------------|
| 1 調査区西半古代・中世遺構完掘全景 (西から) | |
| 2 井戸 SE30 (南から) | 3 井戸 SE29 (南から) |
| 4 井戸 SE19 (南から) | 5 井戸 SE20 (北から) |
| 6 井戸 SE31 (北から) | |
- 図版 6 京都大学総合人間学部構内 AO22 区
- | | |
|---------------------|-----------------------|
| 1 土器溜 SK 1 (北から) | 2 土器溜 SK17-2 下層 (西から) |
| 3 土器溜・集石 SK78 (北から) | 4 埋納遺構 SK15 (東から) |
| 5 配石 SK13 (北から) | 6 配石 SK80 (北から) |
- 図版 7 京都大学総合人間学部構内 AO22 区
黄褐色土出土遺物, 黒灰色土出土遺物
- 図版 8 京都大学総合人間学部構内 AO22 区
SD18 出土遺物, 黒褐色土出土遺物, SE29 出土遺物,
SX 3 出土遺物, SX 1 出土遺物

- 図版22 京都大学本部構内 AX25・AX26 区
 1 軒丸瓦
 2 京都大学構内出土の緑釉円塔
- 図版23 北部構内 BA30 区の発掘調査 (1972年)
 1 調査区全景 (西から)
 2 調査風景 (北から)
 3 東西畔南壁の層位 (南から)
- 図版24 北部構内 BA30 区出土遺物
 弥生時代前期の土器 (1)
- 図版25 北部構内 BA30 区出土遺物
 弥生時代前期の土器 (2)
- 図版26 北部構内 BA30 区出土遺物
 弥生時代前期の土器 (3)
- 図版27 北部構内 BA30 区出土遺物
 1 縄文時代後期・晩期の土器
 2 石器, 削出突帯の細部

挿 図 目 次

総合人間学部構内 AO22 区の発掘調査	
図 1 関連調査地点と字境界 …………… 4	図11 中央微高地黒灰色土 出土遺物 (2)……………22
図 2 東西方向の層位 …………… 7	図12 流路出土遺物 ……………23
図 3 主要遺構の配置 (1)……………10	図13 弥生時代中期の遺物 ……………24
図 4 主要遺構の配置 (2)……………11	図14 SE30・黒褐色土出土遺物……………25
図 5 地区別遺物出土頻度 ……………14	図15 SE29出土遺物 (1)……………26
図 6 各水田区画の平均標高 ……………15	図16 SE29出土遺物 (2)……………27
図 7 平安時代鋳造関連遺構の配置 ……………17	図17 SX 3・SX 4・SX 1 出土遺物 ……………28
図 8 黄褐色土出土遺物 ……………19	図18 SK 1 出土遺物……………29
図 9 水田域黒灰色土出土遺物 ……………20	図19 SK17- 2 出土遺物 (1)……………30
図10 中央微高地黒灰色土 出土遺物 (1)……………21	図20 SK17- 2 出土遺物 (2)……………31
	図21 SK15出土遺物……………32

図22 SK78出土遺物(1)……………34	図46 平 瓦……………74
図23 SK78出土遺物(2)……………35	図47 丸 瓦……………75
図24 SE24出土遺物(1)……………36	図48 近世・近代の遺構……………77
図25 SE24出土遺物(2)……………37	図49 SE 1～SE 4・ 灰褐色土出土遺物……………78
本部構内 AX25・AX26 区の発掘調査	
図26 古墳時代～中世の遺構……………42	図50 京都大学構内出土の 緑釉円塔……………81
図27 西調査区の層位……………43	
図28 暗褐色土・上層遺構 出土土器……………45	北白川追分町弥生時代遺跡の展開
図29 石 鍬……………47	図51 調査区の位置と関連地点……………97
図30 SD 5・SD 6 断面図……………48	図52 上部包含層掘りさげ後の 地形……………99
図31 土器溜 SX 2……………49	図53 東西方向の層位……………99
図32 SK17・SK18・ 上層遺構出土遺物……………50	図54 BA30 区出土縄文時代 後期・晩期土器……………101
図33 SD 3・SK 4 出土遺物……………51	図55 BA30 区出土弥生時代 前期土器(1)……………103
図34 SD 7 出土遺物(1)……………52	図56 BA30 区出土弥生時代 前期土器(2)……………104
図35 SD 7 出土遺物(2)……………53	図57 BA30 区出土弥生時代 前期土器(3)……………105
図36 SD 4 出土遺物……………55	図58 BA30 区出土弥生時代 前期土器(4)……………106
図37 SD 5 出土遺物(1)……………56	図59 BA30 区出土弥生時代 前期土器(5)……………107
図38 SD 5 出土遺物(2)……………57	図60 BA30 区出土石器……………108
図39 SD 6 出土遺物(1)……………59	図61 BE32 区・BE33 区・BD33 区 出土土器……………111
図40 SD 6 出土遺物(2)……………60	図62 弥生時代前期の主要遺跡……………115
図41 SD10・SD11・SD 9・ SD 2・SX 1・SX 2 出土遺物……………62	
図42 SX 4・SX 5 出土遺物……………63	
図43 SX 6～SX 8 出土遺物……………65	
図44 軒平瓦……………71	
図45 軒丸瓦……………73	

表 目 次

表 1	出土土器の計測結果(1).....	66	表 4	京都大学構内遺跡のおもな調査	87
表 2	出土土器の計測結果(2).....	68	表 5	BA30区出土土器.....	109
表 3	平瓦・丸瓦の分類別 出土点数	76	表 6	京都大学構内遺跡出土 弥生土器の編年.....	112

第 I 部 1995年度京都大学構内遺跡発掘調査報告

第 1 章 1995年度京都大学構内遺跡調査の概要

第 2 章 京都大学総合人間学部構内 AO22 区の発掘調査

第 3 章 京都大学本部構内 AX25・AX26 区の発掘調査

第Ⅱ部 京都大学埋蔵文化財研究センター紀要 XⅢ

北白川追分町弥生時代遺跡の展開

伊藤 淳史

1999年3月31日 発行

京都大学構内遺跡調査研究年報

1995年度

編 集 京都大学埋蔵文化財研究センター
発 行

京都市左京区吉田本町

本文印刷 (株)石田大成社
製 本

図版印刷 有限会社 真 陽 社

京都市下京区油小路仏光寺上ル